



Cisco Unity Connection SRSV の概要

- [Cisco Unity Connection SRSV の概要 \(1 ページ\)](#)

Cisco Unity Connection SRSV の概要

はじめに

Cisco Unity Connection Survivable Remote Site Voicemail (Unity Connection SRSV) は、WAN の障害時にボイスメッセージを受信できるバックアップボイスメールソリューションです。Cisco Unified Survivable Remote Site Telephony (SRST) との組み合わせで機能し、中央の Unity Connection ボイスメールサービスとの接続が失われた場合に、ブランチにボイスメールサービスを提供します。

Unity Connection SRSV は、複数のブランチ オフィスまたは小規模サイトを含む集中型 Cisco Unified Communications Manager および Cisco Unity Connection 環境で使用されます。これは、中央の Unity Connection ボイスメールサービスと同期した、限られたボイスメール機能と自動アテンダント機能を提供することで、WAN の切断や障害の発生時に、Unity Connection SRSV ソリューションがブランチのサブスクライバにボイスメールサービスを提供できるようにするものです。ただし、ネットワークが復元されるとすぐに、ブランチのサブスクライバが受信したすべてのボイスメールは、中央の Unity Connection ボイスメールサーバーに自動的にアップロードされます。

Unity Connection SRSV ソリューションには、次の 2 つのコンポーネントが必要です。

- **Unity Connection** : Cisco Unified CM とともに中央サイトに導入され、強力な統合メッセージングおよびボイスメールサービスを提供します。
- **Unity Connection SRSV** : SRSV コンポーネントは、Cisco Unified CM Express または SRST とともにブランチサイトに展開される Unity Connection の一部です。Unity Connection SRSV は Cisco Integrated Service Routers Generation 2 (ISR G2) プラットフォームで、サービスレディエンジン仮想化を使用してホストされます。

サポートされる SRSV トポロジ

Unity Connection SRSV は、ルータの設定に基づいて複数のトポロジをサポートします。オリジナルの SRST または CUCME-as-SRST (SRST フォールバックモードとも呼ばれる) をブランチに展開できます。



(注) ブランチサイトで SRST を実行する場合は、E-SRST 機能を展開できません。

次の図に、Unity Connection SRSV でサポートされる 3 つのトポロジを示します。

図 16-1 : SRST がブランチサイトに展開されるトポロジを示します。WAN が発生または PSTN がダウンした場合、ブランチサイトの Unity Connection SRSV がフェールオーバーモードでボイスメールの限られたサポートを提供します。

図 16-2 : CUCME-as-SRST (SRST フォールバックモードとも呼ばれる) でブランチサイトにコール制御を提供するトポロジを示します。

図 16-3 : 存続可能なブランチサイトでロードバランシングのため複数の CUCME-as-SRST および SRSV-CUE デバイスをペアリングしたトポロジを示します。このシナリオでは、管理者は Cisco Unified Communications Manager を使用して、ブランチユーザーを CUCME-SRST-1 と CUCME-SRST-2 に分割します。中央の Unity Connection サーバーがこの分割を検出し、ブランチサイトで SRSV-1 および SRSV-2 に適切な設定を送信します。WAN に障害が発生したとき、それぞれの SRSV のデバイスは、自身と組み合わされている SRST としての CUCME デバイスから自身に送信されるコールを処理します。

図 1: トポロジ 1

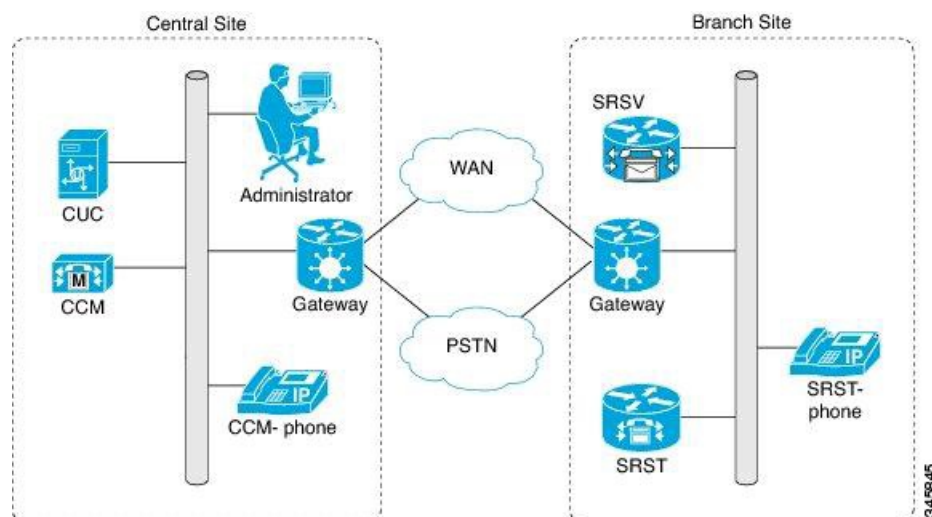


図 2: トポロジ 2

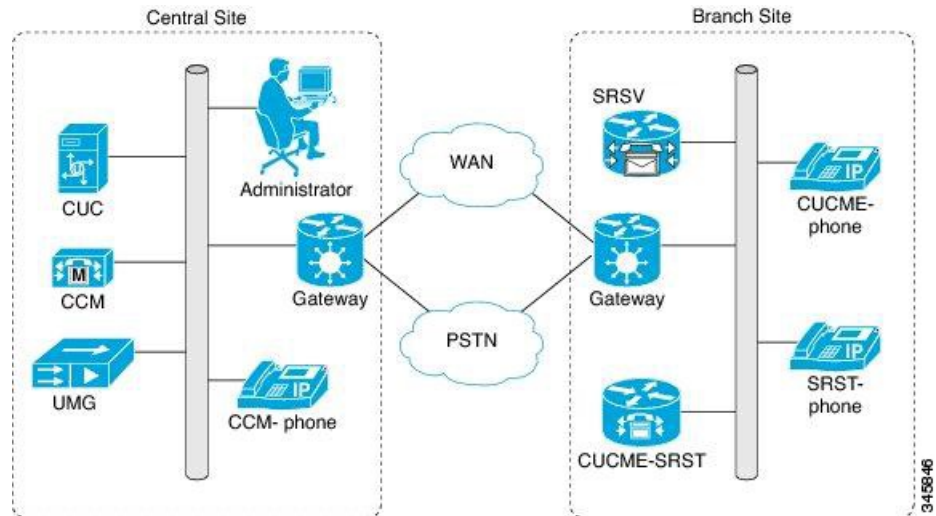
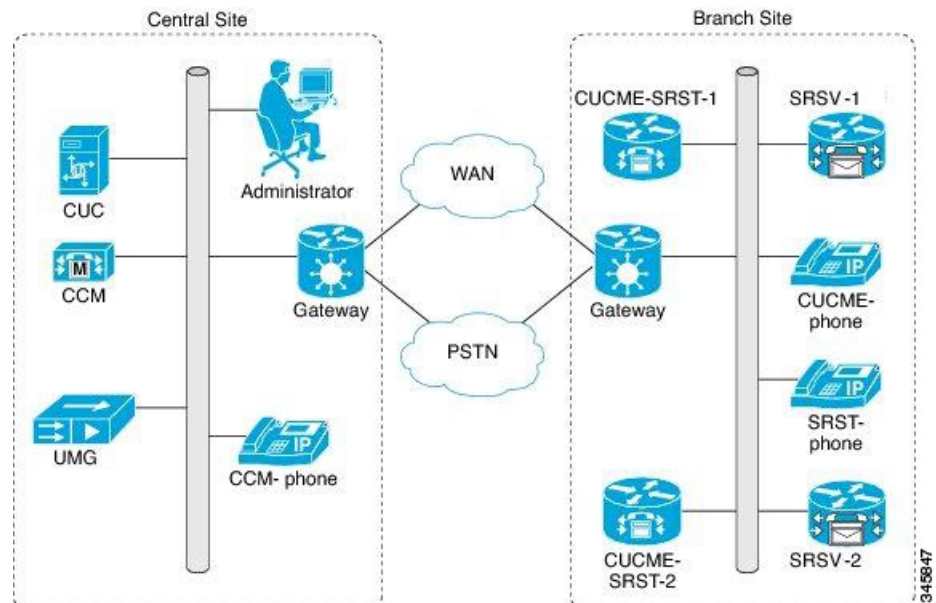


図 3: トポロジ 3



高可用性の SRSV

SRSV と中央の Unity Connection ノードを HA ペアで展開すると、プライマリサーバーがダウンしていても SRSV は機能します。この機能をサポートするために必要な追加設定はなく、自動的にサポートされます。



(注) ネットワークの停止から回復した後は、中央の Unity Connection サーバーと同期するための帯域幅要件がなくなります。

拡張性

各 Unity Connection SRSV ブランチは、ブランチあたり 500 人のユーザーをサポートし、中央集中型 Unity Connection サーバーあたり最大 35 のブランチをサポートします。

ソフトウェア要件

Unity Connection SRSV では、中央の Unity Connection サーバーと SRSV ブランチの両方に Unity Connection の最小バージョン 11.x が必要です。

Unity Connection SRSV 管理者ワークステーションは、ソフトウェア要件に従って設定する必要があります。詳細については、https://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/voice_ip_comm/connection/11x/requirements/b_11xcucsysreqs.html にある『Cisco Unity Connection のシステム要件、リリース 11.x』の「ソフトウェア要件：管理者ワークステーション (Unity Connection および Unity Connection SRSV)」の項を参照してください。

サポート対象ハードウェア

サポートされているすべての Unity Connection ハードウェアが Unity Connection SRSV に適しています。サポート対象ハードウェアの最新リストについては、https://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/voice_ip_comm/connection/15/supported_platforms/b_15cucspl.html にある『Cisco Unity Connection 15 サポート対象プラットフォームリスト』の「Unity Connection SRSV がサポートする仮想プラットフォーム オーバーレイの仕様」の項を参照してください。

制限事項

- 既存のユニファイドメッセージング ゲートウェイ (UMG) ベースの SRSV と Unity Connection ベースの SRSV 間のインタラクションなし
- UMG ベースの SRSV からの移行なし

Unity Connection SRSV と UMG SRSV の完全な比較については、比較ガイドを参照してください。

http://www.cisco.com/en/US/prod/collateral/voicesw/ps6789/ps5745/ps2237/product_data_sheet0900aecd806bfc37.html

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。